

R2

アクションプラン全体計画（平成28～令和2年度）

推進項目	51 行政サービスの電子化の推進				重要度	B			
番号・取組事業名	51002	白バラ便りの見直し	作成日	R2.4.1	更新日	R3.3.31			
担当部署	230000	選挙管理委員会事務局	責任者	関野 昌幸	担当者	庶務担当			
取組年度	H28	～	R2						
効果	歳出削減		その他改善						
最終目標	選挙情報紙「白ばらかしわ」は、選挙時における啓発活動の重要な手段の一つとして、市民ボランティア団体である柏市明るい選挙推進協議会との協働編集により作成し、年1回発行してきた（新聞折り込みによる全戸配付。主要市施設への配備による補完措置あり。）。平成29年度より、経費削減の観点から、新聞折り込みの方法による発行形態を廃止、市ホームページへの掲載を主軸としながら、市内の主要な施設（市施設、駅頭、市内業者）への備え置き方法に移行。なお、情報の周知度を向上させるには、様々な媒体によることが効果的であるので、「広報かしわ」による選挙情報をより充実させ、SNS等の積極的活用など、多角的な啓発活動を展開していく。								
年度	区分	取組内容・目標							
平成28年度	計画どおり	7月（参議選を特集）に市ホームページへ掲載・近隣センターへ配付を行った。3月（知事選を特集）の発行した 印刷部数136,000部 新聞折り込み134,553部							
平成29年度	計画どおり	柏市内高校三年生向けに発行 印刷部数10,000部							
平成30年度	進んでいる	3月に白ばらかしわ第42号を発行した（印刷部数101,500部）。また、白ばら市ホームページに掲載するとともに近隣センター等へ配布した。また、白ばらとは別に、広報かしわへ選挙情報の掲載やSNSの活用等も行った。							
令和元年度	計画どおり	7月に白ばらかしわ第43号を発行した（印刷部数101,500部）。新聞社を絞った折り込みのほか、市ホームページに掲載するとともに近隣センター等へ配布した。また、白ばらとは別に、広報かしわへ選挙情報の掲載やSNSの活用も行った。							
令和2年度	完了（事業終了）	3月に白ばらかしわ第44号を発行した（印刷部数101,500部）。また、白ばら市ホームページに掲載するとともに近隣センター等へ配布した。また、白ばらとは別に、広報かしわへ選挙情報の掲載やSNSの活用も行った。							
成果指標	指標名	印刷部数					単位	部	
	年度	平成27年度 当初予算（基準）	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	最終値	
	当初計画値		138,000	118,000	100,000	85,000	73,000	73,000	
	変更計画値	138,000		1,000	10,000	101,500	101,500	101,500	
実績値		136,000	10,000	101,500	101,500	101,500	101,500		
効果額	歳入増加	当初計画額						0	
		変更計画額						0	
		実績額						0	
	歳出削減	当初計画額		0	549	537	523	501	2,110
		変更計画額	1,245		1,137	1,105	439	439	3,120
		実績額		183	1,106	439	429	413	2,570
	計	当初計画額		0	549	537	523	501	2,110
		変更計画額	1,245		1,137	1,105	439	439	3,120
		実績額		183	1,106	439	429	413	2,570
	見込まれる その他効果 (金額以外)		「白ばらかしわ」の周知度及び情報の伝達度を計るため、市民アンケートを実施	「白ばらかしわ」の周知度及び情報の伝達度を計るため、市民アンケートを実施	「白ばらかしわ」の周知度及び情報の伝達度を計るため、街頭啓発時に市民アンケートを実施	「白ばらかしわ」の周知度及び情報の伝達度を計るため、街頭啓発時に市民アンケートを実施	新型コロナウイルス感染症のため市民アンケート中止		

R2

アクションプラン(令和2年度)

推進項目	51 行政サービスの電子化の推進				重要度	B	
番号・取組事業名	51002	白バラ便りの見直し	作成日	R2.4.1	更新日	R3.3.31	
担当部署	230000	選挙管理委員会事務局	責任者	関野 昌幸	担当者	庶務担当	
	区分	取組内容・目標					
令和2年度	完了 (事業終了)	3月に白ばらかしわ第44号を発行した(印刷部数101,500部)。また、白ばらを市ホームページに掲載するとともに近隣センター等へ配布した。また、白ばらとは別に、広報かしわへ選挙情報の掲載やSNSの活用も行った。					
取組項目				4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
1	3月に発行(知事選を特集)。印刷部数101,500部(内新聞折り込み101,000部)。						○
2	市ホームページへの掲載, SNSの活用。						○
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
進捗							
上半期	進捗状況	その他	コメント	従前より計画していた知事選特集記事のほかに、新型コロナウイルス感染症対策に関する情報や、知事選より増設される期日前投票所に関する情報を掲載する予定である。			
進捗・実績							
年度末	成果指標名	印刷部数	計画値	単位 部 101,500	実績値	単位 部 101,500	
	達成状況【成果】	達成	コメント	柏市明るい選挙推進協議会の協力もあり、新型コロナウイルス感染症対策や、期日前投票所の増設を周知する紙面を作成することができた。また新聞折り込み、市ホームページへの掲載、市公共施設への備え置きなど、計画通りに選挙啓発活動を展開できた。			
	進捗状況【活動】	完了(事業終了)					
	計画変更(次年度以後)	取組内容		コメント			
計画値							
評価	評価者	関野 昌幸	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする				
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	「白ばらかしわ」は啓発の一環として有効であると思われるため、「広報かしわ」や柏市ホームページに掲載している情報との差別化を図りながら、今後も費用対効果を念頭に置き、柏市ホームページや選管公式ツイッターでなど閲覧機会の拡大を図り、有権者に広く周知する方法を模索していきたい。			
	方向性	継続実施					

R2

アクションプラン全体計画（平成28～令和2年度）

推進項目	51 行政サービスの電子化の推進					重要度	B		
番号・取組事業名	51003	郷土資料のデジタル化		作成日	R2.4.1	更新日	R3.3.31		
担当部署	284000	生涯学習部 図書館		責任者	橋本 賢一郎	担当者	千田 雅之		
取組年度	H28	～	R2						
効果	その他改善								
最終目標	地域の課題解決に役立つ資料として郷土資料を収集し、市民が情報検索しやすくするために、デジタル化を行う。								
年度	区分	取組内容・目標							
平成28年度	進んでいる	郷土資料を45点デジタル化した							
平成29年度	計画どおり	パンフレット類のデジタル化と公開							
平成30年度	計画どおり	パンフレット類のデジタル化と公開							
令和元年度	計画どおり	郷土資料を2点デジタル化した							
令和2年度	進んでいる	郷土資料を32点デジタル化した							
成果指標	指標名	郷土資料のデジタル化					単位	冊	
	年度	平成27年度 当初予算(基準)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	最終値	
	当初計画値		2	4	6	8	10	10	
	実績値	0	45	47	49	51	83	83	
効果額	歳入増加	当初計画額						0	
		変更計画額						0	
		実績額						0	
	歳出削減	当初計画額						0	
		変更計画額						0	
		実績額						0	
	計	当初計画額	0	0	0	0	0	0	
		変更計画額	0	0	0	0	0	0	
		実績額	0	0	0	0	0	0	
見込まれる その他効果 (金額以外)			前年度デジタル化した資料をインターネットで公開することで、図書館の開館時間に制限されることなく資料参照できるようになる。	前年度デジタル化した資料をインターネットで公開することで、図書館の開館時間に制限されることなく資料参照できるようになる。	前年度デジタル化した資料をインターネットで公開することで、図書館の開館時間に制限されることなく資料参照できるようになる。	前年度デジタル化した資料をインターネットで公開することで、図書館の開館時間に制限されることなく資料参照できるようになる。	前年度デジタル化した資料をインターネットで公開することで、図書館の開館時間に制限されることなく資料参照できるようになる。		

R2

アクションプラン(令和2年度)

推進項目	51 行政サービスの電子化の推進				重要度	B	
番号・取組事業名	51003	郷土資料のデジタル化	作成日	R2.4.1	更新日	R3.3.31	
担当部署	284000	生涯学習部 図書館	責任者	橋本 賢一郎	担当者	千田 雅之	
	区分	取組内容・目標					
令和2年度	進んでいる	郷土資料を32点デジタル化した					
取組項目			4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	
1	郷土資料のデジタル化作業		○	○	○	○	
2	公開準備		○	○	○	○	
3	公開					○	
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
進捗							
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	・機材の増設計画があるため、今後はデジタル化の進捗が高まる可能性がある。			
進捗・実績							
年度末	成果指標名	郷土資料のデジタル化		計画値	単位 冊 53	実績値	単位 冊 83
	達成状況【成果】	達成	コメント	チャレンジオフィスの協力を得て、デジタル化(テキスト化は除く)は予定以上に進めることができているが、公開については図書館ホームページ内での構成上の調整待ちとなっている。			
	進捗状況【活動】	進んでいる					
	計画変更(次年度以後)	取組内容		コメント			
計画値							
評価	評価者	宮島 浩二	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする				
	総合評価(A・B・C)	A	コメント 指示事項	第5次総合計画後期基本計画にも方針として位置付けられている、「地域のちから」を醸成するためにも重要な資料の一部となる郷土資料を、より使い易く、より広い範囲でデジタル化することを目指してほしい。 また、その利用方法についても、内部の研究もさることながら対外的な周知・習得を促すことも目途としてほしい。			
	方向性	継続実施					

R2

アクションプラン全体計画（平成28～令和2年度）

推進項目	51 行政サービスの電子化の推進					重要度	B		
番号・取組事業名	51005	市民サービスの最適化			作成日	R2.4.1		更新日	R3.3.31
担当部署	160500	地域づくり推進部 広報広聴課			責任者	宮本等		担当者	報道・web担当
取組年度	R1	～	R2						
効果	その他改善								
最終目標	「転入」「転居」「転出」「結婚」「離婚」「出生」「おくやみ」「氏名変更」の8項目の手続きについて、Web上で質問に回答する形式で、必要な手続きや窓口、担当部署等を案内するシステム「くらしの手続きナビ」を導入し、市のホームページをより活用しやすいものとしていく。								
年度	区分	取組内容・目標							
平成28年度									
平成29年度									
平成30年度									
令和元年度	計画どおり	「転入」「転居」「転出」「結婚」「離婚」の手続きの確認作業及びシステム導入が完了した。							
令和2年度	完了 (事業終了)	先行してホームページで公開されている「くらしの手続きナビ」に、「出生」「おくやみ」「氏名変更」の3つの手続きを追加し、システムを完成させた。							
成果指標	指標名	「くらしの手続きナビ」のアクセス数					単位	件	
	年度	平成27年度 当初予算(基準)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	最終値	
	当初計画値					0	2,400	2,400	
	実績値	0				0	3,154	3,154	
効果額	歳入増加	当初計画額				0	0	0	
		変更計画額	0					0	
		実績額					0	0	
	歳出削減	当初計画額					0	0	
		変更計画額	0					0	
		実績額					0	0	
	計	当初計画額		0	0	0	0	0	
		変更計画額	0	0	0	0	0	0	
		実績額		0	0	0	0	0	
見込まれる その他効果 (金額以外)						【手続きガイド】 の導入により、 市のホームページの利便 性や市民サー ビスの向上が 期待される。	【手続きガイド】 の導入により、 市のホーム ページの利便 性や市民サー ビスの向上が 期待される。		

R2

アクションプラン(令和2年度)

推進項目	51 行政サービスの電子化の推進				重要度	B				
番号・取組事業名	51005	市民サービスの最適化	作成日	R2.4.1	更新日	R3.3.31				
担当部署	160500	地域づくり推進部 広報広聴課	責任者	宮本等		担当者	報道・web担当			
	区分	取組内容・目標								
令和2年度	完了 (事業終了)	先行してホームページで公開されている「くらしの手続きナビ」に、「出生」「おくやみ」「氏名変更」の3つの手続きを追加し、システムを完成させた。								
取組項目				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月			
1	「出生」「おくやみ」「氏名変更」の手続きの確認作業及びシステム導入			○						
2	システムの維持管理			○	○	○	○			
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
進捗										
	上半期	進捗状況	計画どおり	コメント						
					・取組項目中、「出生」「おくやみ」「氏名変更」の3つの手続きについて、令和2年6月16日、システム導入済み。今後はこれらを含めた8つの手続きについてシステムの維持管理を行っていく。					
進捗・実績										
	年度末	成果指標名	「くらしの手続きナビ」のアクセス数		計画値	単位	件	実績値	単位	件
					2,400			3,154		
		達成状況【成果】	達成	進捗状況【活動】	完了 (事業終了)	コメント	取組項目中、「出生」「おくやみ」「氏名変更」の3つの手続きについて、令和2年6月16日、システム導入済み。今後はこれらを含めた8つの手続きについてシステムの維持管理を行っていきたい。			
		計画変更(次年度以後)	取組内容				計画値	コメント		
評価	評価者	小貫 省三	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする							
	総合評価(A・B・C)	B	方向性	完了 (目的達成)	コメント 指示事項	システムの導入が完了し、計画値以上の利用実績があったことは評価できる。引き続き質問内容の更新や項目の追加など時代にあったシステムの維持管理を求める。				

R2

アクションプラン全体計画（平成28～令和2年度）

推進項目	51 行政サービスの電子化の推進					重要度	B		
番号・取組事業名	51006	史料デジタルアーカイブ事業	作成日	R2.4.1	更新日	R3.3.31			
担当部署	280400	生涯学習部 文化課	責任者	吉田 敬	担当者	小河原博志			
取組年度	R2	～	R2						
効果	その他改善								
最終目標	<p>地元の歴史情報により簡便にアクセスできる環境を、市民や地域等へ提供し、今後のまちづくりに活かしていく。</p> <p>現状：本市は古文書10万点・古写真5万点と、県内でもトップクラスの史料数を有するも、収蔵施設へのアクセス困難性や稀少性ゆえの原物劣化防止、個人情報保護等の観点から、これの閲覧や活用環境は十分と言えなかった。</p> <p>今後：原物ではなくデジタル情報で十分というニーズも昨今は増えたため、Web上で検索・閲覧・史料の利用申請手続き等が行えるようデジタルアーカイブシステムを構築、随時公表を進めていく。</p> <p>これにより期待される効果は、下記の通り。</p>								
年度	区分	取組内容・目標							
平成28年度									
平成29年度									
平成30年度									
令和元年度									
令和2年度	計画どおり	既にデジタル化された史料(古写真等)を、Web上で公開開始。							
成果指標	指標名	公開史料件数					単位	件	
	年度	平成27年度 当初予算(基準)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	最終値	
	当初計画値						10,000	10,000	
	実績値						9,544	9,544	
効果額	歳入増加	当初計画額						0	
		変更計画額						0	
		実績額						0	
	歳出削減	当初計画額						0	
		変更計画額						0	
		実績額						0	
	計	当初計画額		0	0	0	0	0	0
		変更計画額		0	0	0	0	0	0
		実績額		0	0	0	0	0	0
見込まれる その他効果 (金額以外)							史料のWeb閲覧・事務手続き軽減により、市民サービスの向上と業務効率化が期待。		

R2

アクションプラン(令和2年度)

推進項目	51 行政サービスの電子化の推進				重要度	B		
番号・取組事業名	51006	史料デジタルアーカイブ事業	作成日	R2.4.1	更新日	R3.3.31		
担当部署	280400	生涯学習部 文化課	責任者	吉田 敬	担当者	小河原博志		
	区分	取組内容・目標						
令和2年度	計画どおり	既にデジタル化された史料(古写真等)を, Web上で公開開始。						
取組項目				4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
1	史料デジタルアーカイブの開発・運用			○	○	○	○	
2	史料デジタル化			○	○	○	○	
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
進捗								
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	新型コロナウイルス感染拡大により, 県や先進地(鹿児島市)における研修等, 効率的に企画研究を進める機会を失った事, 他業務事務の増大や応援業務等により, やや遅れが生じていた。しかしその分, 担当内で検討・現況調査を重ね, 現状はおおむね計画どおりとなっている。				
進捗・実績								
年度末	成果指標名	公開史料件数	計画値	単位	件	実績値	単位	件
				10,000		9,544		
	達成状況【成果】	一部達成	コメント	公開後も検索性向上のため, 重複資料の統合等追加対応を進めている。そのため見かけ上の公開史料点数は公開直後の9,544点より当面一時的に減じるが, 資料の新規追加も引き続き進めていく。				
	進捗状況【活動】	計画どおり						
計画変更(次年度以後)	取組内容		コメント					
	計画値							
評価	評価者	宮島 浩二	※重要度A事業は副市長, 重要度B事業は部局長を評価者とする					
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	収蔵資料のデジタル化はもとより, 芸術文化事業におけるアーカイブ化の推進は新型コロナによる非対面, 非接触機会の創出の要請により飛躍的にその重要性を増している。ここで言うデジタルアーカイブとは, 単に紙の情報をただデジタル化するだけではなく, 例えば, データの検索性を高めたりアーカイブ化により学び合う環境が整備されることから, 地域づくりの促進やブランディングにも通じるものであると考えており, その点から方向性において取り組みの強化としたところである。				
	方向性	取組み強化						